

高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会 関東大会 要項

2024/10/20

1. 主 旨 関東サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース(U-15)の少年達のサッカー技能の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、登録種別第3種加盟登録団体(チーム)の全てが参加できる大会として、全日本U-15サッカー選手権大会 関東大会を実施する。
2. 名 称 高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会 関東大会
3. 主 催 一般社団法人 関東サッカー協会
4. 主 管 一般社団法人 関東サッカー協会第3種委員会
5. 後 援 東京都教育委員会 神奈川県 神奈川県教育委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会
茨城県教育委員会 栃木県教育委員会 群馬県教育委員会 山梨県教育委員会
6. 協 賛 株式会社モルテン 大会使用球: アディダス コネクト24 コンペティション
7. 期 日 令和6年11月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)
8. 会 場

東京都	・清瀬内山運動公園	11月9日,10日
神奈川県	・横浜FC LEOCTレーニングセンター・日産追浜総合グラウンド・馬入サッカー場	11月9日,10日,16日,17日
	・かもめパーク・日本工学院総合グラウンド	
埼玉県	・埼玉県フットボールセンター・さいたま与野八王子サッカー場	11月9日,10日
	・ライフコミュニケーション上尾サッカーグラウンド	
千葉県	・あけぼの山農業公園	11月9日,10日
茨城県	・つくばFC万博グラウンド・アントラーズつくばアカデミーセンター	11月9日,10日
	・セキショウチャレンジスタジアム	
栃木県	・栃木SC宇都宮フィールド・キョクトウ青木フィールド・丸山公園サッカー場	11月9日,10日,16日,17日
群馬県	・コーエィ前橋フットボールセンター	11月9日,10日
山梨県	・御勅使南公園Bグラウンド・YSKe-comシルクパーク・富士北麓公園球技場	11月9日,10日
9. 参加チーム 今年度は全国大会に出場枠が8あり、そのうち関東リーグ1部上位4チームに全国大会への出場権を与えるため、関東リーグ1部5位以下のチームと各都県予選にて出場権を獲得した38チームの64チームとする。関東大会に出場できる都県枠は、その年の全国大会に出場できる関東枠によって変動する。本年度の出場数は下記の通りとする。

・関東リーグ1部(6)・2部(20)	計26チーム
・都県代表枠数	
・東京(7) ・神奈川(6) ・埼玉(9) ・千葉(5)	
・茨城(2) ・栃木(4) ・群馬(3) ・山梨(2)	計38チーム
10. 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に令和6年5月31日までに第3種または女子登録したチームもしくは準加盟チームであること。
(2) ① 第1項のチームに令和6年5月31日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により、上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、当該都県サッカー協会第3種委員会および当該地域担当の全日本ユース(U-15)実施委員が別途了承した場合に限り、大会参加を認める。
② (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別のチームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。
尚、本項適用対象となる選手の年齢は4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適用対象外とする。
(3) 登録を済ませた選手のうち、現登録チームで今大会の予選にメンバー入り(サブも含む)しなければ、令和6年8月31日までに他チームへ移籍し登録することができる。但し、一家転住の場合は、現行通り、前所属チームで予選に出場した場合も転住先の新しいチームで出場することができる。
(4) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。ただし11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
 - ① 合同するチームおよびその選手は、それぞれ(1)及び(2)の①を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - ③ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチーム代表者が合議の上、代表チームが行うこと。
 - ④ 合同チームとしての参加を当該都県サッカー協会第3種委員会が別途了承すること。
 - ⑤ リーグ戦で同一チーム内の2チームが関東1部と2部や関東2部と都県リーグなどの異なるリーグで参加は認められているが、高円宮杯でのエントリーは1チームとする。
 - ⑥ リーグ戦に出場しているセカンドチームは、チームとして高円宮杯予選には参加出来ないが、選手としてファーストチームの登録には入る事が出来る。

- 11 競技方法
- (1) 64チームを16チームずつ4ブロックに分けてノックアウト方式のトーナメント戦を行い、それぞれの1位が全国大会出場の権利を得る。
 - (2) 試合時間は80分(40分ハーフ)とする。また、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として10分間とする。規定の時間内に勝負が決しない場合、5分間の休憩後20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝敗を決定する。
 - (3) 荒天で試合が中断した場合、その試合が後半30分を経過し中断となり再開不可能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす。
(同点の場合は抽選とする)それ以前に中断し再開不可能な場合は改めて残り時間について試合を行うものとするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。
なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、中断時の選手とする。
- 12 競技規則
- (1) (公財)日本サッカー協会制定の「2024/2025サッカー競技規則」による。
 - (2) 大会参加申し込みした最大30名の選手のうち、各試合の登録選手は最大20名とする。
また、ベンチ入りのスタッフについては、1～5の優先順位の番号を振ること。
ただし、監督は1とする。
 - (3) 交代に関しては、各試合毎に登録した最大9名の交代要員の中から5名までの交代が認められる。
①選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
②前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの交代選手は、後半の交代回数に含まれない。
③延長戦に入った際、後半に3回選手交代を行った場合でも、選手交代を行うことができる。(交代枠が残されている場合に限る)
④後半の交代回数3回を利用し終わった後、GKがプレーを続行することができないような負傷をした場合、交代が認められている人数の交代をまだ行っていなければ、4回目の交代をすることができる。すでに認められた交代人数の交代を終えている場合は、交代は認められずフィールドプレーヤーの中からGKを務めるものを決める。)
 - (4) 本大会において退場を命じられた選手等は次の1試合に出場できない。違反行為の内容によっては、それ以降の処置を大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
 - (5) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は次の1試合に出場できない。
 - (6) テクニカルエリアを使用する。テクニカルエリアはベンチ入りのチームスタッフの全てが戦術的な指示を出せる場であるが、指示を出せるスタッフはその都度1名のみとする。
- 13 参加申込
及び
監督会議
- (1) 参加申込書に登録し得る人数は、スタッフ5名(トレーナーを含む)、選手30名とする。
 - (2) 参加申込の手続きは、各都県委員より配布される、所定の申込用紙に必要事項を記入し、大会事務局に送信すること。(10月19日(土)16:00まで)
尚、監督会議以降のスタッフ、選手の登録変更は認めない。
 - (3) 監督会議は次の期日で実施する。
 - ① 期日: 令和6年10月20日(日) 16:00開始
 - ② 会場: リモート会議及び代理抽選会(URLは後日配信)
- 14 参加費
及び
負担金
- 参加料は1チーム30,000円とし、10月22日(火)までに下記まで振り込む。
(振込手数料等は、各チームで負担してください。)
また、2回戦以降、各チームより試合ごとに15,000円の負担金を徴収する。(各試合会場にて)
- 15 ユニフォーム
- (1) ユニフォームは(公財)日本サッカー協会に登録されたものを原則とし、参加申込書を受理した後の変更は認めない。
 - (2) ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に基づき、承認された場合のみこれを認める。
ただし、日本中学校体育連盟加盟チームは、日本中学校体育連盟の規定によりこれを認めない。
 - (3) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に副として、正と異なる色のユニフォームを参加申込書に記載し、必ず携行すること。GKについても同様である。
 - (4) 審判が通常着用する審判服(黒)と同一または類似のシャツを着用することはできない。
ゴールキーパーについても同様である。('JFAユニフォーム規定'より)
 - (5) Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。
 - (6) シャツの前面・背面には必ず、試合登録用紙に登録された番号をつける。
大きさは縦25cm程度、横はこれに比例した適当な大きさで、番号は見やすいものとする。

- (7) ユニフォームの色の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- 16 組み合わせ 監督会議において抽選を行い、決定する。
- (8) キャプテンアームバンドに関しては、日本サッカー協会によって用意または認められたアームバンドのみ着用が認められ本協会によって認められたアームバンドを着用する場合は日本サッカー協会ユニフォーム規程に準拠すること。
- 17 その他 (1) 記録をより正確なものにするため、ショーツに縦10cm程度の番号(背番号・胸番号と同一のもの)をつけることが望ましい。
- (2) 大会規定に違反、またはその他不都合があった時は、そのチームの出場を停止する。
- (3) 参加申込書のポジションについては、必ずGK, DF, MF, FWと記入すること。
- (4) ベンチ入りできる人数は登録された中からスタッフ5名、選手20名の25名を上限とする。
但し、トレーナーについては大会当日にメンバー表を変更することが出来る。
尚、上記25名以外はピッチレベルに入ることはできない。
- (5) 各チームの登録選手は、本協会発行の選手証(電子選手証を印刷したもの・登録選手一覧を印刷したもの)を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。試合開始前に本部がメンバー表と照合する。また、用具チェックの際にも、審判員が照合を行う。※電子選手証とは、本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。なお、本大会では電子選手証(写真を貼付したもの)・登録選手一覧をコピーし提示した場合、出場を認める。
- (6) 会場では担当者の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーを十分心がける。
- (7) 本大会は公益財団法人日本サッカー協会規約規程「第12章 懲罰」に則り、大会規律委員会を設け、委員長は関東三種委員会 金子哲郎委員長とし、委員については委員長が決定する。[基本規定 第227条]
- (8) 各試合の70分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。その際、メンバー表の提出(4部)、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項等の説明を行う。
- (9) 交代用紙は各チームで準備する。(各都県で使用しているもの)
- (10) 出場チームは会場における「競技場確認事項」を遵守し、運営委員(担当者)の指示に従って行動すること。
- (11) 抽選会において、関東リーグ1部、2部ともに各々の指定された箇所を抽選し、各都県の代表チームは残りの指定外の箇所の抽選を行う。(平成24年度第24回より)
- (12) 各ブロックを勝ち抜いた全国大会出場チームに関しては、関東Lの順位及び各都県の予選での順位により関東第5代表～第8代表に割り振る。なお、決定の仕方は以下の通りとする。
①関東リーグ1部の順位により、上位から割り振る。
②関東リーグ2部の順位により、上位から割り振る。同順位の場合には本大会の組み合わせでAブロックに近い方を上位とする。
③都県予選参加チームの順位は、本大会の組み合わせでAブロックに近い方を上位とする。
- (13) 試合開始時刻に遅れないようにし、審判による用具チェック時(予定時刻7分前)に整列できないチームは不戦敗とする。
- (14) 本大会に関する問い合わせ先は下記の通りとする。

※ ホームページ掲載にあたり、項目を一部省略しております。